平成30年度　入学者教育課程表

A　表

（ 表 面 ）

教育局	上川	北海道旭川永嶺高等学校	全日制課程	学科	普通科	第1学年の学級数	7

教科	科目・標準単位数 ＼ 学年 ／ 類型		1　年	2　　年	3　　年	計
国語	国語総合	4	4			4
	国語表現	3				
	現代文A	2				
	現代文B	4		4		0～4
	古典A	2				
	古典B	4		4		0～4
	○現代文研究	2			2	0～2
	○古典講読	2		2		0～2
	○国語一般	2		2		0～2
	○文章表現	2		2		0～2
	○実践国語	2		2		0～2
地理歴史	世界史A	2	2			2
	世界史B	4			4	0～4
	日本史A	2		2		0～2
	日本史B	4		4		0～4
	地理A	2		2		0～2
	地理B	4		4		0～4
	○アジア史研究	2		2		0～2
	○探究日本史	2			2	0～2
	○探究地理	2			2	0～2
公民	現代社会	2	2			2
	倫理	2		2		0～2
	政治・経済	2		2 ～ 3		0～3
	○社会教養	2		2		0～2
	○政治・経済研究	2		2		0～2
数学	数学Ⅰ	3	3			3
	数学Ⅱ	4		4		0～4
	数学Ⅲ	5			5	0～5
	数学A	2	2			2
	数学B	2		2		0～2
	数学活用	2		2		0～2
	○数学応用Ⅰ	3			3	0～3
	○数学応用Ⅱ	2			2	0～2
	○発展数学Ⅰ	3			3	0～3
	○発展数学Ⅱ	2			2	0～2
	○実践数学	5			5	0～5
	○数学課題研究	3			3	0～3
	○確率統計	2		2		0～2
理科	科学と人間生活	2			2	0～2
	物理基礎	2	2			2
	物理	4		5		0～5
	化学基礎	2		2		0～2
	化学	4		4 ～ 6		0～6
	生物基礎	2	2			2
	生物	4		5		0～5
	地学基礎	2		2		0～2
	地学	4				
	理科課題研究	1				
	○生物研究	2		2		0～2
	○探究化学	2			2	0～2
	○探究生物	3			3	0～3
	○教養化学	2		2		0～2
保健体育	体育	7～8	3	2	2	7
	保健	2	1	1		2
	○スポーツ科学	2		2		0～2
	○トレーニング	2		2		0～2
芸術	音楽Ⅰ	2	2 ┐			0～2
	音楽Ⅱ	2		2		0～2
	音楽Ⅲ	2				
	美術Ⅰ	2	2 ─			0～2
	美術Ⅱ	2		2		0～2
	美術Ⅲ	2				
	工芸Ⅰ	2	─ 2			
	工芸Ⅱ	2				
	工芸Ⅲ	2				
	書道Ⅰ	2	2 ┘			0～2
	書道Ⅱ	2		2		0～2
	書道Ⅲ	2				
	○音楽実技	2		2		0～2
	○音楽表現	2		2		0～2
	○ライフアート	2		2		0～2
	○美術表現	2		2		0～2
	○書に親しむ	2		2		0～2
	○書道表現	2		2		0～2

A　表　　（ 裏 面 ）

教育局	上川	北海道旭川永嶺高等学校	全日制課程	学科	普通科	第1学年の学級数	7

教科	科目・標準単位数 ＼ 学年・類型	類型	1年	2年	3年	計
外国語	コミュニケーション英語基礎	2				
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3			3
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		4		4
	コミュニケーション英語Ⅲ	4			4	4
	英語表現Ⅰ	2	2			2
	英語表現Ⅱ	4				
	英語会話	2		2		0～2
	○ 英語構文	2		2		0～2
	○ 総合英語講読	2			2	0～2
	○ 英語アドバンスト	2		2		0～2
	○ 英語ベーシック	2		2		0～2
	○ 英文読解	2		2		0～2
	○ 実践英語	2			2	0～2
家庭	家庭基礎	2	2			2
	家庭総合	4				
	生活デザイン	4				
情報	社会と情報	2		2		2
	情報の科学	2				
家庭	子どもの発達と保育	2～4		2		0～2
	フードデザイン	2～8		2		0～2
看護	○ 看護入門	2		2		0～2
	○ 看護医療概論	2			2	0～2
情報	情報の表現と管理	2～6		2		0～2
英語	異文化理解	2～6		2		0～2
各学科に共通する各教科・科目の計			30	19 ～ 29	16 ～ 28	65 ～ 87
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			0	0 ～ 10	0 ～ 12	0 ～ 12
総合的な学習の時間		3～6	1	1	1	3
合計			31	30	29	90
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3

教育課程に係るその他の事項			
卒業までに修得させる単位数	74 単位	卒業に必要な履修と修得の単位数	○ 1 分離している　2 分離していない
学期の区分	1 3学期制　○ 2 2学期制	学期の区分ごとの単位修得の認定	○ 1 実施している　2 実施していない
1単位時間の弾力化	○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を(　　)分×(　　)時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち(　)日間を、1日当たり(　　)分×(　)時間で実施]と、[1週のうち(　)日間を、1日当たり(　　)分×(　)時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他 (　　)		
学校外における学修の単位認定	○ 1 実施している　（①・③・④・⑤） 2 実施していない		
総合的な学習の時間の実施方法	1 週時程に位置付けて実施する。 ○ 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。		
備考	学校設定科目の修得単位数は、合計20単位まで、卒業までに修得させる単位数に含めることができる。 現代文B及び古典Bを2年次に履修した場合、3年次にも継続して履修する。 日本史A又は日本史B、若しくは地理A又は地理Bを履修しなければならない。 社会教養は現代社会を、政治・経済研究は政治・経済を履修した者に限る。 2年次に化学基礎又は地学基礎を履修しなければならない。 2年次に化学を選択する場合、化学基礎を同時に履修し、前期で化学基礎の単位認定を受けた後、後期で化学を履修する。ただし、前期で化学基礎を修得出来なかった場合は、後期で再度、化学基礎を履修することとする。 物理、化学及び生物を2年次に履修した場合、3年次にも継続して履修する。 音楽Ⅱ及び音楽表現は音楽Ⅰを、美術Ⅱ及び美術表現は美術Ⅰを、書道Ⅱ及び書道表現は書道Ⅰを、それぞれ履修した者に限る。 異年次混合科目は、2年次に修得した科目を3年次に再度履修することはできない。 3年次の数学Ⅲを履修する場合、2年次に数学Ⅱを履修していること。		

注　　用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。